

会長就任にあたって

会長 岡本 啓松

このたび、第37代目の岡山後楽園ロータリークラブの会長を務めさせていただくことになりました。前年度は松井会長・芝田実行委員長のもと、創立35周年記念で大いに盛り上がりました。

今年度は心機一転、次の40周年に向けてのスタート年度です。

次の世代への第一歩を元気よく踏み出すはずでしたが、7月1日にコロナに罹患し、第1例会を欠席せざるを得ない、クラブはじまって以来初という事態を引き起こし、会員皆さまに大変ご迷惑をお掛けしました。改めて与えられた任務を一生懸命果たしてまいりたいと思います。

地区のスローガンは『未来への架け橋をつくろう』です。ロータリークラブの取り巻く環境もどんどん進化・変化しており、今まで通りでは難しいかもしれません。皆さまのお知恵をちょうだいしながら前へ向かって運営してまいります。

特に重点目標として取り組みたいことが三つあります。その一つ目は、会長方針として『奉仕は たすけあい「一隅(いちぐう)を照らす奉仕活動を」』といたしました。

ロータリークラブの会員皆さまは、すでに異業種のそれぞれの職業を究めておられます。ロータリークラブ活動内でも、会員のその身近な場(＝一隅＝各奉仕委員会)の活動を生かして、まわりを照らす実践活動を続けて、その一隅で輝きたいものです。

二つ目は若手の登用。最近入会された若い会員や年齢問わず入会年次が若い会員に理事、委員長、副委員長になっていただき、岡山後楽園ロータリークラブを引っ張っていただき、やりがいを体験して、ロータリークラブ活動の楽しみをいっぱい味わっていただきたいと思っています。会員のその汗をかいた活動が達成感を味わえる

と同時に、ロータリークラブの公共イメージアップにつながると思います。

三つ目は会員増強です。なかでも中期計画にもありますように特に女性の入会を拡げることです。あと女性2名以上を促進したいものです。会員皆さまも会員増強委員になったつもりで周りに該当の方がおられましたらぜひ入会促進をお願いいたします。そして会員増強委員会へご連絡お願いいたします。現状のままでは、会員減につながります。

いずれにしてもロータリークラブの良さ、楽しみは、「エンジョイ ロータリー」にあると思います。地区大会、同ゴルフ会、同テニス会、IM、各奉仕活動委員会のロータリーの各活動に参加し、また親睦活動委員会(拡大含め、また同好会行事も)行事に参加して会員同士の人柄に触れ、社会奉仕活動に参加してポリオ撲滅・ポリオプラスへの寄付など通して、クラブ人生を楽しんでいきましょう。

会員皆さまがロータリークラブを楽しんでいかれませう三村重人幹事とともに1年間務めてまいります。よろしくご支援お願い申し上げます。



幹事に就任して

幹事 三村 重人

1 入会前のロータリークラブと私

私は、28歳で弁護士になり高松市の法律事務所に約10年勤務しました。勤務先は義理の親子の弁護士が経営する法律事務所で、雇用主二人とも違うクラブのロータリアンでした。勤務していた法律事務所では、毎週ロータリークラブの囲碁同好会の例会が開かれており、私もオブザーブ参加して楽しみに基盤の準備をしていま

した。また、ボス弁は、約10年前ガバナー補佐を務めました。みんなのためにやりがいがあるようなことを言っていました。

一時期、私は、高松青年会議所のOBが多く在籍しているロータリークラブから軟式野球の練習に駆り出されていました。牽制の練習でランナーをしていると背中を押されて転んだところをタッチアウトされ、みんな大笑

いするという雰囲気でした。練習帰りに汚い焼肉屋でライス大とホルモンをごちそうになるのが定番で、食事中にクリスマス家族会のこと等を聞いてロータリークラブは楽しそうだなと思っていました。

入会して初めてロータリークラブの理念の核が奉仕にあることを知りましたが、今も、ロータリークラブは親睦を深めるための場所だという印象を強く持っています。

2 方針

私は資産を持ったことがないので分かりませんが、お金持ちによると、いったんお金が減りだすと将来必ずなくなるのでとても不安になるそうです。減少傾向が固定するとクラブ財政はいずれ枯渇します。

そこで、緊縮財政としつつも、皆が楽しく過ごすことができるよう工夫しなければなりません。委員長の皆さまにはお知恵をいただきたいと思ひますし、会員の皆さまも面白いことはどんどん教えていただきたくお願ひします。そのうえで、岡本会長の「一隅を照らす奉仕活動」を実現したいと思ひます。

このような考えの下、奉仕事業例会やIMでの例会を行ってみます。

3 お願ひ

事務局員の仕事効率化のためGoogleフォームを活用します。回答内容が自動的に表計算ソフトに整理され、それをリアルタイムで委員長が共有することができるし、クラウドに結果が残るのでいつでも参照可能です。

集計したい事項を事務局員に言えば、フォームを作成して会員に周知してもらえます。質問方法はかなり柔軟に設定できます。皆さまのビジネスにも応用できるのではないかとも思うので、ぜひロータリークラブで練習してみてください。

4 岡本会長の思ひ

岡本会長の理想は、若い会員とベテランの会員がともにクラブを盛り上げることです。

若い会員の皆さま、そもそもロータリークラブには失敗というものが存在しないと思ひていますし、全ての結果は岡本会長が救い上げてくださいます。ですから、元気に何でもやってみようという気持ちでクラブに参加していただければと思ひます。

ベテランの会員の皆さま、ぜひ若い会員と一緒に楽しんでいただければと思ひます。

新年度を迎えて

親睦活動委員長 菅波 洋平

本年度、親睦活動委員長を担当させていただきます。

私は、まだ入会して2年目で昨年度に親睦活動副委員長をした程度で、この大役を務めるにあたり期待と不安が多い状況ですが、できる限り皆さんに迷惑を掛けないよう、また自分自身も楽しんで活動できればと思ひます。

今年のクラブスローガン「奉仕は たすけあい「一隅を照らす奉仕活動」」となっており、このスローガンに沿うためには、会員同士の信頼関係の深さが重要と思ひており、クラブの皆さんが親睦を深めるための機会を増やすことが大切かなと考えております。

私の入会時はコロナ禍のため、親睦活動は自粛ムー

ドでコロナ前の活動状況が解っておりません。しかし皆さんの希望もありコロナ前の活動状況に持って行ければと考えております。

内容としましては、通常例会と特別例会はもちろんですが、拡大親睦活動委員会を増やすことと他の委員会との連携を図り、会員同士が楽しめる機会を作ろうと思ひます。

まだまだ未熟な委員長ですが、岡本会長と三村幹事のもと、親睦活動委員の全員で協力し合い、楽しみながら活動していきますので、皆さまにもご協力のほどよろしくお願ひいたします。

職業奉仕委員長を拜命して

職業奉仕委員長 深井 豊久

職業奉仕とは何ぞや？

少し解りずらい点がありますが、簡単明瞭に言えば『世のため、人のため奉仕する心を持って、職業を営むべし』という言葉で表されています。ロータリークラブの職業奉仕はすべてのロータリアンが倫理と高潔さを持って仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決の為に進んで役立てることです。自分の職業を通じて人々と繋がり、奉仕の機会を広げることができます。

また、自分の仕事において高潔な態度を保ち、社会に奉仕する機会として職業を価値あるものにすることが求められます。個人として、日々の生活や仕事において奉仕の理念を実践し、自分の職業スキルを向上させ他の人々にも指導する事で、社会に貢献します。具体的な例として例会で職業について話し合ったり、地域社会で職業スキルを生かした奉仕プロジェクトに参加したり、若

者のキャリアアップを支援したり、専門能力の開発を奨励したりすることも職業奉仕の一環です。ロータリークラブに入会することでさまざまな職業奉仕の機会に参加できると思ひます。

そして、『四つのテスト』(1)真実かどうか(2)みんなに公平か(3)好意と友情を深めるか(4)みんなのためになるかどうか。ご存知のように、これが四つのテストです。このテストは(1)と(2)~(4)の2つに分析することができますと言われております。(1)は言動そのもの内容に関するものであり、(2)~(4)は行動が述べられる状況に関する準則を示していると言われております。ロータリアンの行動はどんな場合でも(1)の真実でなければならない。そして、実行、言動に関しては、(2)~(4)の準則に照らした上でなさなければならないと言うことでしょう。

職業奉仕＝超私の奉仕では？

今年度、ロータリー五大奉仕部門の一つである社会奉仕部門を担当させていただくことになりました居森正而です。

高齢で微力の私に担当できるか、またどのように取り組ませていただいたら良いか、非常に迷っているのが現状です。しかし、決定された以上、会員の皆さま方のご指導、ご協力をいただきながら前に進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

今年度の地区スローガンは「未来への架け橋をつくらう」であります。それと地区目標の中に「地域に役立つ奉仕活動の実践」とあります。そこで私どもクラブの岡本会長の運営方針であります『奉仕はたすけあい「一隅を照らす奉仕活動を」』を基本として心に抱いて、会員の皆さま方をはじめ、多くの皆さま方のご支援をいただきながら奉仕活動を進めてまいりたいと考えております。

具体的な業務につきましては、松井奉仕プロジェクト委員長ご指導のもと、環境保全委員会の小坂委員長、高齢者福祉委員会の犬養委員長等のご支援、ご指導をいただきながら、前年度補助金活動委員会で実施されたロータリー地区補助金事業「ひとり親家庭児童支援活動」(10月20日予定)・MAKおかやまクリニックモール献血支援活動(11月4日予定)・そして今年度は外部の方を入れて活動される予定の旭川荘児童院「つばさコンサート」支援活動(3月予定)等をご支援していければと思っています。

コロナ禍の中で厳しくなっていた状況より一歩でも前進できればと願い、皆さま方のご協力をいただきながら、楽しく活動して多くの皆さまに喜んでいただけるよう頑張っただけですのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

国際奉仕委員長に就任して

このたび、国際奉仕委員長に就任させていただき、ロータリークラブを学ぶ上での大きな第一歩だと考えております。私自身ロータリークラブを知るきっかけとなったのは旅行業界時代に各クラブの海外旅行、海外研修などを手配させていただいたところから始まります。最初のイメージは世界的な組織で、各国のクラブがつながり合っただけで一つの目標を達成するという感じでした。私自身も入会前に台湾、台北東南扶輪社の周年行事へ同行もさせていただき多少なり肌で感じることができました。

それから数年後、入会した時にはコロナ渦になっており、海外への渡航規制が入っている真っ只中でした。その後コロナも落ち着いた昨年より海外との交流が盛んになり、提携クラブのある韓国、台湾、グアムへと何名かの会員の方に訪問していただきました。また創立35周年記念では各クラブから多大なるご参加もいただき交流

が図れました。さらに本年7月上旬には3名の会員と奥さまがラオス小児病院へと訪問されました。

今年度も昨年同様に韓国、台湾、グアム、ラオスへの訪問を考えております。そしてここ3年で新しい会員も増えたので、声を掛け合いみんなで海外との交流できればと思います。

そんな今年のRIテーマは『ロータリーのマジック』、そして第2690地区のテーマは『未来への架け橋をつくらう』です。新しい会員も増えたことですし、今まで海外へのクラブに訪問できなかった方もぜひご参加いただき、ロータリーでの海外への活動を通して、世代を超えて会員同士が一つの目標に向かえる、そんなチャンスの一つだと思っています。国際奉仕を通して未来へのロータリーの一步になればと思っています。

青少年奉仕委員長に就任して

今年度、青少年奉仕委員長を仰せつかりました三村勇人です。

五大奉仕委員長という大役をいただき大変緊張しておりますが、青少年奉仕に対する活動を、積極的に行っていきたいと思っています。今年度RI会長のテーマであります「ロータリーのマジック」を念頭に青少年奉仕に対する活動の理解を会員の皆様とともに深めていきたいと

考えております。青少年の成長に寄与できるような活動を心掛け情報を発信していきたいと思っています。

副委員長や委員の皆様のご協力を承りながら、一年間活動していきたいと思っています。会員の皆様方のご指導ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

2024年おかやま全国高校生邦楽コンクール — 琴・尺八の演奏を楽しむ — 青少年奉仕委員 秋山 義信

今年も、7月27日(土)岡山県天神山文化プラザにて「全国高校生邦楽コンクール」が開かれました。昨年の29名から今年は19名の参加により、酷暑の続く中、高校生のさわやかな演奏を楽しむことができました。

課題曲「六段の調」では、高校生の力量が試されます

(全員同じ琴で演奏)。短い古典曲ながら、演奏の基本がつかっています。

自由曲は、自分の楽器で自由にのびのびと演奏していました。曲目のちがいがあり、バラエティーに富み、各演奏を堪能しました。

特に印象的だったのは、久しぶりの尺八奏者(男子1名)の参加でした。琴とはちがう音色と響き、よかったです。

コンクールの目玉は、すべての演奏終了後、審査員砂崎先生による「講評」です。「六段の調」演奏のポイント(糸の張り方、音の強弱、音の運びなど)を、演奏を混えながら適確に指導されます。初めてと記憶しますが、第1位(県知事賞)の曲目(「水の変態」宮城道雄作曲)についても、指導がありました。出演者の皆さんはもちろんですが、私たちも砂崎先生の「ミニコンサート」の如き「講評」を、毎回期待しています。

他の審査員の方々(尺八演奏家、ヴァイオリニスト他)の講評もそれぞれプロの視点から、なるほどと思わされました(音の運び、第1音が大事、会場での音の響きや自分の音を知ること、和楽器の音色と表現力など)。

岡山後楽園ロータリークラブ奨励賞は、吉永琴美さん(県立熊本高校2年生、2回目の参加)でした。来年も参加するとのこと。今後の成長と挑戦、次回の再会を楽しみにしています。

百聞は一見に如かず。会員の皆さまには、ぜひとも高校生による邦楽演奏を一度ご覧いただきたくお勧めします。



例会プログラム

7月

4日 新年度の抱負①
三村 重人 幹事・役員・理事

11日 新年度の抱負②
岡本 富松 会長・役員・理事

18日 新年度の抱負③
各委員長

25日 7月生まれのスピーチ
7月生まれの会員

8月

1日 8月生まれのスピーチ
8月生まれの会員

8日 子どもたちに夢を!
～岡山の誇りとなる存在になる～
ファジアーノ岡山
代表取締役社長 森井 悠様

15日 盆休

22日 会員増強について
一実践例から学ぶ
秋山 義信 会員増強委員長

29日 取りやめ

行事記録

7月

4日 第6回理事会
アークホテル岡山

10日 県南16RC正副会長・幹事会
アークホテル岡山

11日 新旧研修・育成委員会
アークホテル岡山

11日 第1回会員増強委員会打ち合わせ
アークホテル岡山

18日 第1回地区補助金事業打ち合わせ
アークホテル岡山

25日 第1回ビジョン委員会
アークホテル岡山

25日 第2回地区補助金事業打ち合わせ
アークホテル岡山

25日 第1回ファイヤーサイド・ミーティング
および第1回拡大親睦活動委員会
アークホテル岡山

27日 2024年おかやま高校生
邦楽コンクール
岡山天神文化プラザ

30日 第1回公共イメージ委員会打ち合わせ
事務局

8月

1日 第7回理事会
アークホテル岡山

3日 社会奉仕委員会打ち合わせ
事務局

7日 県南16RC幹事会
ホテルグランヴィア岡山

編集後記

クラブ会報委員長 丸山 夏樹

今年度のクラブ会報第1号です。会長、幹事、親睦活動・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕委員長の皆さまの就任に当たっての抱負、意気込みを掲載しております。会員の皆さまにも熱い思いを感じ取っていただければ幸いです。

さて、今年度は、ちよっぴり「楽しみのエッセンス」が入ったクラブ会報にチャレンジしたいと思っております。丸山(長)、岡村(副)、藤原、福島、那須の5人で頑張りますので、皆さまのご協力、よろしくお願ひいたします。

発行 2024年8月8日
岡山後楽園ロータリークラブ

編集 クラブ会報委員会

印刷 有限会社 藤原印刷